

援けます！ 実力派抗がんサプリ

余命宣告にも諦めず 抗がん漢方の共闘力

旭丘光志 医療ジャーナリスト

●東北地方への恩返しに 薬局復活を！

東日本大震災でほぼ壊滅状態に陥った宮城県・石巻市。それは病院や薬局など医療機関も例外ではありませんでした。

あれから6年近く、気を取り直し復興に向けて懸命に頑張る地域の人々の健康を支え続ける薬剤師がいます。その薬局は津波が襲いかかった海岸線から2 km近く離れているにもかかわらず、1・5 mを超えるどす黒い海水が到達して、地震で崩れた店内をさらにメチャ

クチャにし、汚泥のような水が6日間も引かなかったと言います。

石巻市中里・東洋漢方研究所『ヤマト漢方薬局』の福谷信治薬剤師（57歳＝被災時51歳）は大震災から8カ月後には、すべての薬品と商品を手付した状態から部分的にはありました。が店舗を修復し、お客さんが必要としている薬品などを少しずつ揃えて営業を再開したのです。

「がん闘病や再発阻止を10年以上も漢方薬や冬虫夏草サプリメント『青海冬夏泉』やチベット仏教医学の酸素補給サプリ『紅雪冬夏』で支えている方、そして不妊治療、



東洋漢方研究所・ヤマト漢方薬局 福谷信治薬剤師

アトピー性皮膚炎などで継続的に漢方処方相談に乗っている方たちも少なくありませんので、何があっても長期の供給中断は許されないので。私は自らが選んだ世界最高品質の生薬とサプリしか使ってこなかったもので、輸送路が壊滅した地震直後から数カ月は本当に製品確保に苦労しました」

8カ月よりさらに前、まだ店舗が復活しない時点では、東京の輸入元から宅配便で石巻市の安全な場所まで必要量を運んでもらい、そこからさらに市内や東北各地の継続使用者のもとへ送っていたのです。



復活なった『ヤマト漢方薬局』

この地に根を張り『ヤマト漢方薬局』を東北地方有数の相談薬局に育て上げた福谷薬剤師は、いま静かにその苦闘の日々に思いを馳せます。

「今回の大震災ではたくさんの人たちが亡くなられ、家族を失って心に容易に癒されなない深い傷を負った方も少なくありません。辛い時ちよつと立ち寄って心置きなく愚痴を聞いてもらえる場所も必要でしょう。もし体の不調があれば、あまり体の負担にならない漢方薬や機能性食品をお教えすることもできます。ストレスを緩和する呼吸法などもあります。この地への恩返しになればと思つて、まず店の再開に全力を上げました」

福谷信治薬剤師は「東北薬科大学Ⅱ現・東北医科薬科大学」を出た西洋医学の薬剤師ですが、後に東京の漢方専門薬局や中医師の勉強会などで中医学（中国漢方）を含む東洋医学と生活医療を学ぶことによつて統合医療的な視野を獲得した新しいタイプの相談薬剤師となりました。

祖父から父親までは奈良県の配置薬会社の東北地方担当者で、福谷薬剤師のルーツは奈良県人なのです。父と祖父の東北との長い絆



を見てきたことから、東北のこの町で開業した福谷薬剤師。『ヤマト』の三文字が店名に冠されている理由を聞いたとき、初めて自らのルーツを語ってくれたのです。

●がん患者の思いを聞き 薬剤師が共闘する

福谷薬剤師のがんへの独自の相談薬局の取り組みとその効果について、まず知っていただきましょう。

「とにかく皆さん長く生きます。震災も非常時。がんも非常時——でも慌てず落ち着いて向き合えば立ち直ることはできる。そして、



ずらりと圧巻の最高品質漢方生薬と『青海冬夏泉』と『紅雪冬夏』

日頃の備えあれば患いなし——この2点を押さえておけば、何とかなる。それを3方向に分けて、具体的に紹介します」

当然のことですが「病院のがん医療」と「薬局のがん相談」は異なります。どちらが良いというのではなく、それぞれの目的や狙いが異なるということです。

病院は医学的に確立された治療手立て（手術、化学療法、放射線療法など）を検査結果をもとに論理的に組み合わせ、がん細胞や病巣を目に見える形で物理的に排除することを狙いとします。治療を行うのはもっぱら医師の側で、



お客さんの話を十分に聴くところから始まる福谷調査

患者さんのもっぱら治療される側です。

「しかし私たち薬局も含めて統合医療では、がんに限りませんが患者さんといえますか相談者自身が治療の主体者です。私たち薬剤師と共闘して病気に立ち向かうというの、もつとも実際の姿に近いと言えるでしょう。

そのために私たちがまずやらねばならないのが、相談者のお話を徹底的に聴くことです。

ポイントは、相談者がどうしたいのか、何を指して病気に立ち向かうのか。まずそれを知り、そこに添った治療の手立てを選ぶことにより、共に苦しみや不安と向き合い共闘することこそが大事です。

がんと言えば、①強い抗がん剤などもしつかり使いがんを消してしまおうと考えるのか。②体へのダメージの少ない治療法（免疫療法や統合医療など）でがんの増殖を抑え、がんと共に存しながら仕事も続けるのか。③がんが全身に転移してしまっている場合、がんそのものをターゲットにするのではなく、体に起きてくる痛みや食欲減退などの苦

痛症状を緩和しQOL（生活の質）の向上維持に留めるのかです。もちろん病状の変化により、これらを適宜組み合わせることも視野に入っているわけですが」

いまの保険医療制度の中では、医師にはがん患者さん個々の話を時間をかけて聞き、じっくり方針を決めるだけの余裕がありません。健康保険では丁寧に聴いてもたいして点数が付きませんし、何より医師は猛烈に忙しく時間が取れない。検査結果に基づいた標準治療も決められています。治療方針や治療上の注意点を説明して終わりです。福谷薬剤師はこれまでの治療経験から、明快に言い切ります。

「がんの診断を受けた患者さんは、これからどうなっていくのだろうか、と恐怖と不安に苛まれて強度のストレス状態にあります。

相談薬局は「相談を受ける」とが本筋ですから、本当はどうしたいのか、相談者の心配や心に引っかかっている問題を、1時間でも2時間でも時間を気にしないでじっくりとお聞きし適切な対応ができます。

医師に示された治療法の副作用や後遺症の不安と対処法、家族のこと、仕事は続けられるのか、さらにがんを負けない食生活や生活習慣の改善方法など——人それぞれ



福谷信治薬剤師は「国際中医師」の資格を持つ。写真は、その認定書

る漢方薬ケースが壮観です。すべて世界最高品質の生薬で震災後揃えたもので200種類あります。個々の症状に合わせて調合しますが、がん治療では大多数のがんで機能性食品であるチベット産冬虫夏草『青海冬夏泉』

これを飲んだがん患者さんの多くがそう証言していることでも明らかですし、私が取材したある教育関係出版社の経営者だった人物(76歳)は、がんになったとき(胃がん、前立腺がん、舌がん)大学病院のがん医療を断り、この冬虫夏草製剤『青海冬夏泉』だけで治ってしまい、90歳に近いままお元気に過ごしています。

福谷薬剤師が冬虫夏草をがん医療のベースに置くのも、似たような治療症例を多数持つているからです。がんは種類ごとに性質が異なりますから、冬虫夏草に併せてさらにそのがん特有の抑制効果を持つ機能性食品と漢方生薬も組み合わせ、治療効果をいつそう確かなものにします。

そういうときに使う機能性食品を一通りあげておきます。「シベリア靈芝」「靈芝」「メシマコブ」「高麗人參」「三七人參」「白花蛇舌草」「ローヤルゼリー」「牛黄」+200種類の漢方生薬。

「こうした自然療法的な統合医療の手立ては、相談者が不安ストレスから解放され前向きになったとき予想を遥かに超える相乗効果を発揮することを私はこれまでに多数目撃してきました。人間、いや生きとし生けるものはすべて、自らの健康を取り戻す

ための免疫系やホルモン系などの多様なシステムを持っています。気持ち前向きになると、全身の健康復元システムは連携しながら生き生きと働き始めます。その相乗効果で体に優しい漢方薬や機能性食品が、しばしば驚くべき治療効果を発揮して、相談者を驚かせます」

福谷薬剤師は中国政府が認定する「国際中医師」でもあります。

中国の伝統医学を国際的に正しく普及することを目的に中国の漢方医師と同じレベルであると認定する制度です。福谷薬剤師は2004年に難関試験に合格して、国際中医師資格を獲得しました。

調合には西洋医学とは異なる方角から人体と向き合う中医師の眼力と中医学理論が活かされているのです。

●改善の連鎖が起る

大震災の後、ヤマト漢方薬局へ相談に訪れるがん患者さんが急速に増えたと言います。家や家族を失った人が多く、やはりそのストレスからではないかと福谷薬剤師は考えています。

「私のがん医療では大震災の前から土台になるのがチベット産の天然もの冬虫夏草を主原料とする機能性食品である『青海冬夏泉』な

●最高品質の『冬虫夏草』と200種類の漢方生薬の理論ががん相談者を支える

れに人生観が違えば生き方も違いますから、話を聞きながら本当はどうしたいのかを見極めて、その相談者に合った方向でアドバイスし、前向きな闘病生活を送っていただけるようサポートすることができのです。相談者の話はおい

現在の都度お聞きします。いま現在のお悩みなど吐き出して、帰るときには皆さん納得し安心顔になっておられます。心に引っかかっていた不安が解消され、ストレスが緩和されるというおまけまでつくんです」

冬虫夏草はチベット高原の3500〜4000mでしか採集できず、古来仙人の食べ物といわれてきた不老長寿の秘薬として知られます。中医学では肺経(呼吸)、腎経(水分の代謝、気力、精神力、生命力、生殖、免疫系)を賦活する――つまり生命維持に直接かわるすべての生体機能を支える稀少高貴薬でやはり細胞レベルから働きます。実際飲んでみると4〜5日で、生命力の高まりを体のいろいろな局面で実感できます。それも強壮剤のような感じではなく、生命活動のもっと根源からのエネルギーの高まりを実感できます。



あさおか・こうじ

1938年、樺太・豊原市（サハリン・ユジノサハリンスク）生まれ。作家、ジャーナリスト。小説およびノンフィクション（人物論、社会問題、教育分野、医療分野）で活躍。医療分野では、1980年代から、統合医療へと向かう世界的な新しい医療潮流を追って、各国の医療現場を取材執筆。著書に『統合医療の力』、『決定版 シベリア健康法』、『食べて治す機能性食品』ほか多数。



福谷薬剤師の漢方と生活指導により生まれた赤ちゃんの写真が店内にずらり、増え続けている。もっと大量にあったが、津波に流された

のですが、震災後がん改善の連鎖が起こっているのです。

余命宣告されたスキルス胃がん（ステージ3C）患者さんがお元気で生き延びていたり、子宮がん（ステージ4）の肝臓転移で手術不能とされた女性の肝臓がん病巣が、1日6本の冬虫夏草を3カ月飲んだところで消失したため、子宮がんの手術が可能になり命拾いしたケースなどが日常的に起こるようになったのです。

福谷薬剤師はがんに苦しむ人が来ると、惜しげもなく『青海冬夏泉』や機能性食品、漢方薬の組み合わせで起こった完解や治癒例を紹介

します。さらにがんを克服した人たちが、周囲の人たちに話すため、それを聞いたがん患者さんが、ワラにもすがるようにやってくるようになります。これも改善の連鎖と言っているのではないのでしょうか。そうやって連鎖の輪は次々に広がっていくのです。

●16年前取材した子宮がん患者がいまもお元気だった！

16年前私は、首の周囲にできたがんと子宮転移がんを手術と冬虫夏草抽出液（青海冬夏泉）の併用治療で克服した67歳（当時）になる佐々木素子さん（仮名）について、新聞で紹介しました。食堂経営のその女性が16年後の現在も83歳でご健在であることを、今回の取材で知りました。

佐々木さんは石巻市の総合病院で偶然首の周りに小指第一関節大のがんとその周辺に砂粒のように散らばるがんが発見されたのです。

がんはすでに子宮に転移していることがわかり、ただちに抗がん剤治療と放射線治療が開始されました。しかし思わしい治療効果は見られず、病巣はわずかず

つですが大きくなっており、家族は「2カ月持たない」と余命を告げられます。

簡単にあきらめられない家族は1カ月後の3月4日、手術を求めて仙台市の病院に入院させ、ただちに手術のための検査が開始されました。

同時に自宅近くの『ヤマト漢方薬局』に「冬虫夏草を飲ませてみたい」と相談します。

福谷信治薬剤師が冬虫夏草でかなり末期の人々を救っているという噂を耳にしていたのです。

「10ml入り青海冬夏泉を1日6本飲むようお勧めしました。検査中とのことでしたから、通常は組み合わせる漢方生薬は一切お出ししませんでしたが……」

そして3月17日に手術することに決まったのですが、その直前検査で子宮がんが消失していることが判明したのです。

首のがん病巣は消えておらず、手術で摘出されました。

その周辺に散らばっていた砂粒のような小さながんについては、すべて消えていることが、手術のとき確認されたのです。

『青海冬夏泉』を飲み始めて14日しか経っていないのです。

佐々木さんご本人とご家族はもちろんのこと、福谷薬剤師にとつ

ても多数の改善例はあるものの、これほど短期間のがん消失は驚きだったと言います。

「ですからいつか再発があるので、と退院後も注意深く状態を聞き続けるとともにしばらくは青海冬夏泉をしつかりと飲み続けていただくことにし、術後の体力と免疫力を高める漢方薬を調合してお支えしてきました。

佐々木さんはやがて飲食店の仕事に復帰しまして――あれから今まで16年間再発の心配もなしです。いまはもう店はやっていませんが、83歳とは思えないような元気で、ときどきお顔を見せにきてくれます。

冗談をとばしながら、アンチエイジングに役立つ漢方薬や『紅雪冬夏』などをお求めになつていかれますよ」

赤血球の酸素抱き込み量を増やし、さらに女性ホルモン様成分を含む雪蓮花が配合されている紅雪冬夏を飲んでおられるせいかもしれないませんが、見た目もずっと若い――と福谷薬剤師は我がことのように喜びます。

病気ががんだけではなく、福谷薬剤師の活動はいまや体にやさしい「不妊治療」など人間の幸福を招く方向にも広がりがつつあるので